

# 【概要版 参考例】授業で全ての児童生徒の「できた」「わかった」につなげるために

3年〇組	教科 算数	指導者 〇〇 〇〇
単元名・題材名	分数	時 8 / 全10時間
題目	分数のひき算もできるかな	
ねらい	1より小さい同分母の分数のひき算について、前時の分数の加法と関連付け、単位分数の個数に着目することを通して、分子の引き算が単位分数の個数になることを説明できるようにする。	
評価	【評価規準】 単位分数の「いくつ分」になるのかに着目して、 $3/5 - 1/5 = 2/5$ になるわけを図や式を使って説明している。	
	【観点】 思考・判断・表現	【評価方法】 発言・ノート
「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫	・分数概念の定着が十分でない児童には、 $3/5$ から $1/5$ を1つずつ取り外せる液量図を操作させることで、単位分数の個数に着目できるようにする。 ・集中を持続することが難しいA児には、学習の流れをボードで示し、学習活動ごとにスモールステップでできたことを認めていくことを通して、最後まで達成感を積み重ねられるようにする。	
学習活動	1, めあてをとらえる。 ・問題場面を提示し、前時の分数のたし算場面との違い（ひき算場面）に着目したところをめあてを位置づける。 【めあて】 分数でもひき算ができるか考えよう 2, 課題をつかみ、自分の考えを持つ ・問題文から $3/5 - 1/5$ を立式し、分数のたし算の方法を想起したところで課題を位置づける。 【課題】 ひき算もたし算と同じように分子だけの計算でできるか ・「たし算と同じだったら？」と問い、分子だけの計算から $2/5$ を導き出し、 $2/5$ が答えとして正しいかどうかを吟味していくことを確認する。 ・前時で用いた線分図や液量図を提示したり、「もとにする」「いくつ分」「分母」「分子」といった考えをまとめる際に必要な言葉を提示することで、解決への見通しを持たせる。 ・自分の考えをノートにまとめさせる。まとめる際には、「たし算と同じで良いか」「どうしてよい（悪い）のか」の構成でまとめさせる。 3, 考えを班でまとめ、全体で出し合う ・班ごとに考えをホワイトボードにまとめる。 ・全体で交流し合い、各班の考えの共通点から計算方法を吟味させる。 4, まとめをする ・必要な言葉（キーワード）を確認し、選択して計算方法をまとめさせる。 【まとめ】 ひき算も分子の数をひけばもとになる分数（単位分数： $1/5$ ）がいくつあるかがわかるから分子だけの計算でできる。 ・まとめをもとに、「 $1 - 3/5$ 」も「 $5/5 - 3/5$ 」で計算できることをおさえた上で練習問題に取り組ませる。 4, 本時を振り返る ・わかったこと、自分ののび、これから頑張りたいことの視点で振り返らせる。 【期待したい振り返り】 分数のひき算もたし算と同じでもとになる分数で考えればできる。／はじめはどう言えばいいかわからなかったけど、「分子はもとになる分数の数だ」といった〇〇さんの言葉で説明をまとめることができた。／次のまとめの練習問題でカンペキにできるようにしたい。	

【本時でねらうことは何か】

何について学ぶ授業なのか

- ↳どんな頭の使い方をする学習活動を仕組むのか
- ↳どんな力をつけることを目指すのか

【本時の具体的な評価規準を】

- ・「単元の評価規準」から、本時の「ねらい」の達成状況を見取るための具体的な評価規準設定へ

【何ができていたらOKなのか】

- ・具体的にどんな姿が見られれば、ねらいに対する「おおむね満足できる」状況なのかを設定する

【困難さの要因から具体的な手立てを】

☆「おおむね満足できる」状況に至らない児童生徒の困難さに具体的な手立てを工夫し、全ての児童生徒を「おおむね満足できる」状況に到達させることを目指す

☆個に応じた指導の工夫、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導の工夫については、この中や学習活動の中に追記する方法も考えられる

☆「個別の指導計画」を作成している児童生徒については、記載内容をふまえるとよい

# 【詳細版 参考例】授業で全ての児童生徒の「できた」「わかった」につなげるために

3年〇組	教科	算数	指導者	〇〇 〇〇
単元名・題材名	分数		時	8/全10時間
題 目	分数のひき算もできるかな			
ねらい	1より小さい同分母の分数のひき算について、前時の分数の加法と関連付け、単位分数の個数に着目することを通して、分子の引き算が単位分数の個数になることを説明できるようにする。			
評価	【評価規準】単位分数の「いくつ分」になるのかに着目して、 $3/5 - 1/5 = 2/5$ になるわけを図や式を使って説明している。			
「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫	【観点】思考・判断・表現	【評価方法】発言・ノート		
	・分数概念の定着が十分でない児童には、 $3/5$ から $1/5$ を1つずつ取り外せる液量図を操作させることで、単位分数の個数に着目できるようにする。 ・集中を持続することが難しいA児には、学習の流れをボードで示し、学習活動ごとにスモールステップでできたことを認めていくことを通して、最後まで達成感を積み重ねられるようにする。			
学 習 活 動	1. めあてをとらえる。 ・問題場面を提示し、前時の分数のたし算場面との違い（ひき算場面）に着目したところをめあてを位置づける。			
	【めあて】分数でもひき算ができるか考えよう			
	2. 課題をつかみ、自分の考えを持つ ・問題文から $3/5 - 1/5$ を立式し、分数のたし算の方法を想起したところで課題を位置づける。			
	【課題】ひき算もたし算と同じように分子だけの計算でできるか			
	・「たし算と同じだったら？」と問い、分子だけの計算から $2/5$ を導き出し、 $2/5$ が答えとして正しいかどうかを吟味していくことを確認する。 ・前時で用いた線分図や液量図を提示したり、「もとにする」「いくつ分」「分母」「分子」といった考えをまとめる際に必要な言葉を提示することで、解決への見通しを持たせる。 ・自分の考えをノートにまとめさせる。まとめる際には、「たし算と同じで良いか」「どうしてよい（悪い）のか」の構成でまとめさせる。			
	3. 考えを班でまとめ、全体で出し合う ・班ごとに考えをホワイトボードにまとめる。 ・全体で交流し合い、各班の考えの共通点から計算方法を吟味させる。			
	4. まとめをする ・必要な言葉（キーワード）を確認し、選択して計算方法をまとめさせる。			
	【まとめ】ひき算も分子の数をひけばもとになる分数（単位分数： $1/5$ ）がいくつあるかがわかるから分子だけの計算でできる。			
	・まとめをもとに、「 $1 - 3/5$ 」も「 $5/5 - 3/5$ 」で計算できることをおさえた上で練習問題に取り組みさせる。			
	4. 本時を振り返る ・わかったこと、自分ののび、これから頑張りたいことの視点で振り返らせる。			
【期待したい振り返り】 分数のひき算もたし算と同じでもとになる分数で考えればできる。／はじめはどう言えはいいかわからなかったけど、「分子はもとになる分数の数だ」といった〇〇さんの言葉で説明をまとめることができた。／次のまとめの練習問題でカンペキにできるようになりたい。				

## 【本時でねらうことは何か】

- ・(学習内容)何について学ぶ授業なのか
- ・(学習活動)どんな頭の使い方をする学習活動を仕組むのか
- ・(育成を目指す資質・能力)どんな力をつけることを目指すのか

## 【本時の評価規準を具体的に】

単元の評価規準（例、「単位分数の幾つ分と見ることで、整数と同じように処理できることに気づき、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えている」）をもとにして、本時の中での「ねらい」の達成状況を見取るための具体的な評価規準を持つ（設定する）

## 【何ができていたらOKなのか】

具体的にどんな姿が見られれば「おおむね満足できる」状況なのかを設定する  
→ここを具体的に設定することで、評価規準に届かない児童生徒(努力を要する状況)の姿を捉えることにつながる

## 【困難さの要因から具体的手立てを】

☆個に応じた指導の工夫、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導の工夫については、この中や学習活動の中に追記する方法も考えられる

☆「努力を要する状況」の児童生徒の困難さから具体的な手立てを工夫し、全ての児童生徒を「おおむね満足できる」状況に到達させることを目指す  
(例)「前時の足し算でも単位分数を扱っているけど、〇さんはまだ分数の概念理解が確実でないから単位分数に着目して考えるのが難しいかもしれないなあ。〇さんの個別の指導計画には支援として、『場面を具体物で視覚的に捉えさせる』っておいていたから今回も何らかの視覚的な手立てが必要だ」  
→具体的手立て設定へ

☆「個別の指導計画」を作成している児童生徒については、計画している支援の方針や方法をふまえるとよい

授業の中で「できた」「わかった」につなげるための視点として、「評価規準」の設定と『努力を要する状況』の児童生徒に対する手立ての工夫からまとめました。今後の参考にさせていただければありがたいです。

↓この時間子どもが学習することは(\_\_\_\_\_)だ

↓授業の最後に(\_\_\_\_\_)が  
できれば・わかれば・説明できれば… OK!

↓そのために授業の中で(\_\_\_\_\_)を  
させよう

↓そうするとまあOKな子どもの具体的な状況って  
(\_\_\_\_\_)な姿だな

↓そうならない子どもは(\_\_\_\_\_)に  
困ってる・十分でない可能性があるから  
(\_\_\_\_\_)を用意しておこう。

たとえば・・・分数の学習で ( $3/5 - 1/5 = 2/5$ )

- ↓この時間子どもが学習することは(分数の引き算)だ
- ↓授業の最後に(単位分数 $1/5$ の数を引けばよいこと→分子ひけばよい)を説明できればOK
- ↓そのために授業の中で(前時の足し算の方法をもとにしたり、線分図や液量図で比べること)をさせよう

↓そうするとまあOKな子どもの具体的な状況って( $1/5$ がいくつあるかをみて計算方法を説明している)姿だな

↓そうならない子どもは(単位分数の概念理解)が十分でない可能性があるから(取り外し操作のできる液量図)を用意しておこう。

# たとえば・・・分数の学習で ( $3/5 - 1/5 = 2/5$ )

- ↓この時間子どもが学習することは(1より小さい同分母分数の引き算)だ【A:学習内容】
- ↓授業の最後に(単位分数 $1/5$ の数を引けばよいこと→分子ひけばよい)を説明できればOK【C:育成を目指す資質・能力】
- ↓そのために授業の中で(前時の足し算の方法をもとにしたり、線分図や液量図で単位分数の個数に着目)をさせよう【B:学習活動】
- .....
- ↓そうするとまあOKな子どもの状況って( $1/5$ がいくつあるかをみて計算方法を説明している)だな
- .....
- ↓そうならない子どもは(単位分数の概念理解)が十分でない可能性があるから(取り外し操作のできる液量図)を用意しておく。

本時のねらい  
【A】→【B】→【C】の順に整理  
1より小さい同分母分数のひき算について、  
前時の分数の加法と関連付けて、単位分数の個数に着目することを通して、  
分子の引き算が単位分数の個数になることを説明できるようにする。

1 単位時間の評価規準  
単位分数の「いくつ分」になるのかに着目して、 $3/5 - 1/5 = 2/5$ になるわけを図や式を使って説明している

「努力を要する状況」の児童への手立て  
分数概念の理解が十分でない児童には、単位分数ごとに取り外しのできる液量図を操作させることで、単位分数に着目できるようにする。